



電気通信大学大学院 情報理工学研究科
総合情報学専攻 セキュリティ情報学コース
市川研究室 博士前期課程 高橋健

作品の名称: ippuQ(いっぷきゅー)

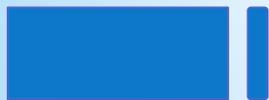
機能: 分煙ソリューション&喫煙管理ツール

アピールポイント: 喫煙者も非喫煙者もハッピーに!

URL: <https://devpost.com/software/ippuq>

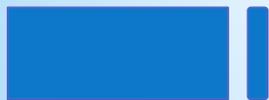
* タバコが抱える問題(喫煙者)

- 喫煙所の所在が分からない
- 非喫煙者への配慮
- いつ、どこで、どのくらい吸ったのかわからない



* タバコが抱える問題(非喫煙者)

- 歩きタバコをされたくない
- 副流煙を吸いたくない
- ポイ捨てをやめて欲しい



解決案:「ippuQ」

通信機能

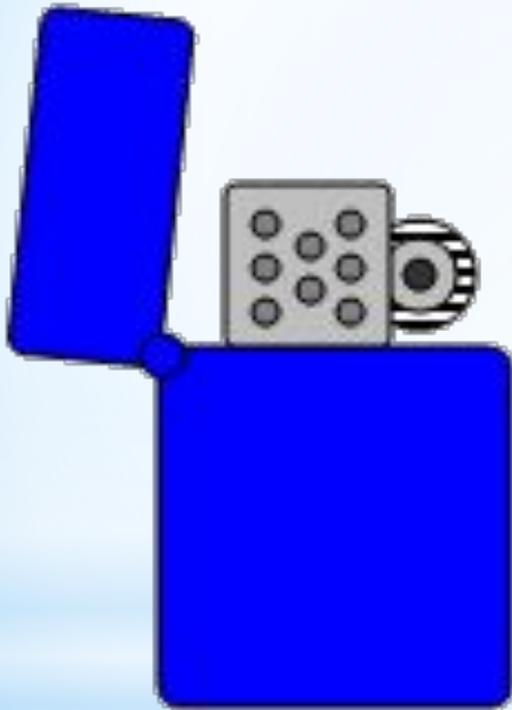


ライター

スマートフォンと連携するライター

- ①喫煙所検索機能
- ②タバコNG通知機能
- ③喫煙履歴の可視化機能

* 提案システム(ライター)



〈スマートライター〉
タバコを吸うと同時に、
「いつ」、「どこで」
吸ったという喫煙情報を記録し、
スマートフォンと連携すること
ができる

* 提案システム(アプリ)



①喫煙所検索機能

近くの喫煙所がす
ぐに分かる

②タバコNG通知機能

通知が来ることで
非喫煙者への配慮が
できる

③喫煙履歴の可視化

今までにない
自己管理の指標になる

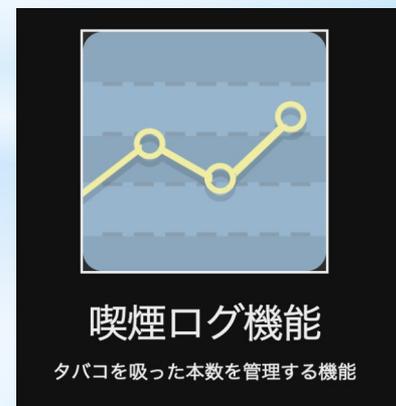
マネタイズ1：多機能かつ高級感あるライター



安価で安っぽいライターではなく、

- Zippoのような高級感
- iQosのような近未来感

を両立できる、先進的なデザインでかつ多機能で他ライターの差別化を図る。



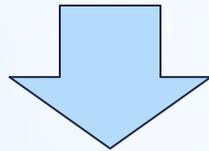
マネタイズ2: 保険会社、飲食店などへの情報提供



- ①REDIMPULZが喫煙者にライター「ippuQ」を販売
「ippuQ」ユーザーは、吸ったタバコ本数・喫煙場所・喫煙時間を自分のアプリで閲覧可能。
- ②ユーザの喫煙情報がREDIMPULZに収集されます。
- ③「ippuQ」から得た情報をREDIMPULZが管理・加工し、保険会社や飲食店などに提供します。
- ④喫煙データの購入者は、それによってユーザの動向や販売価格も定めることができ、それによって収益を得ます。

市場規模

タバコ使用者：1201万人



電子タバコを使用したことがある人：97万人
(ippuQのような新しいモジュールに興味がある人数と仮定)

(参考)

appleウォッチなどのウェアラブル端末の日本の市場規模は、2015年度134万台

利益計画

ippuQライター価格：9090円

(参考：Zippoの売り上げTOP80の平均価格：9090円)

売上：9090(円) × 97(万人) ÷ 88.2(億円)

利益：70～79(億円)

(原価を10～20%と想定)

データを保険会社等に販売時の利益

(1データ15円として)

15(円) × 97(万人) = 1455万円

利益総額：70.15～79.15(億円)

* 開発中のシステム構成





***開発中の
ライター・アプリ**